

女性の活躍を推進するために



(厚生労働省ホームページより)

女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が制定されました。

これにより、平成28年4月1日から、労働者301人以上の企業は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられることとなります。

Q1 なぜ女性の活躍推進が必要なのですか

我が国における働く女性の現状は、

- ①就業を希望しながら働いていない女性が約300万人
- ②出産・育児を理由に離職する女性が依然として多い。
- ③女性雇用者における非正規雇用者の割合は6割近く。
- ④管理的立場にある女性の割合は11.3%(平成26年)

となっており、働く場面において女性の力が十分に発揮できていない状況にあります。

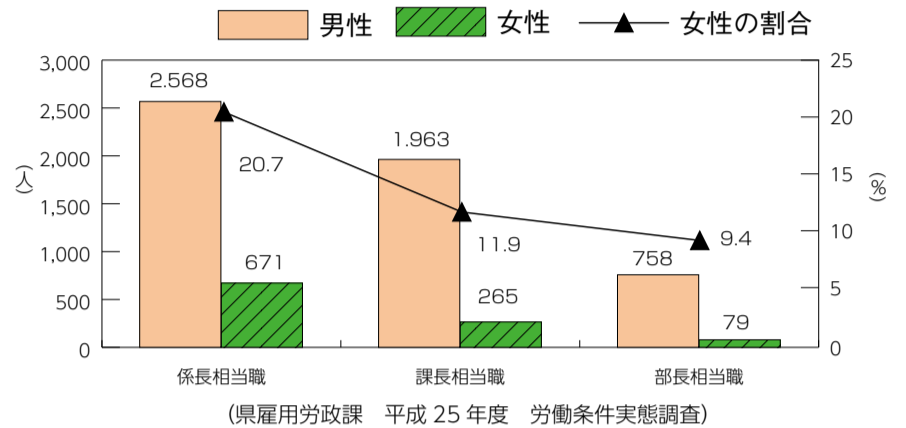
人口減少により将来の労働力不足が懸念されている中で、国民のニーズの多様化やグローバル化に対応するためにも、女性の活躍の推進が重要となっています。



Q2 県内における女性管理職の状況はどうなっていますか

県内の事業所における管理職等(係長相当職以上)総数に占める女性の割合は、役職が上がるにつれて低下しています。

管理職等における女性の割合(階級別)



Q3 女性活躍推進法の制定により、事業主には、どのような取り組みが求められるのですか

常時雇用する労働者の数が301人以上の事業主には、次の事項が義務付けられます。(300人以下の事業主は努力義務となります。)

- ①自社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析
- ②①を踏まえた行動計画の策定、社内周知、公表
- ③行動計画を策定した旨の県労働局への届出
- ④自社の女性の活躍に関する状況の情報の公表

●女性活躍推進法の詳細については、厚生労働省ホームページ(女性活躍推進法特集ページ)もご覧ください。

女性活躍推進法特集ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>

女性活躍推進法特集ページ で検索!

活躍する女性を紹介します

「一歩踏み出す 勇気を持って」

カルビー(株) 鹿兒島工場
工場長 石丸 早苗 さん



カルビー(株)で女性として初めて工場長に登用された石丸さん

◆管理職になって感じていること

管理職になってから初めて経験することが多く、辛い、しんどいと思うこともありますが、今後の自分の成長を考えるといい経験をさせていただいていると感じています。

また、管理職になった時点で人材育成を考えるようになりました。必要な知識や資格取得などをメンバーの課題とし、組織が成長するように取り組んできました。メンバーの成長や活躍が嬉しいと肌で感じるのは管理職という立場になってからです。

◆今後、どのように活躍の場を広げていきたいか

工場だけではなく、他の部門での経験もしてみたいです。見聞を広げて、人の活躍の支援もしたいです。

◆若い人へのメッセージ

弊社には、先輩職員が後輩職員の相談を聞いて助言などを行う「メンター制度」があり、不安解消に大変役立っています。悩んだりした時、アドバイスや経験談を交えて定期的に話を聞いてもらうことで、『よし、アプローチを変えてやってみよう』と次の行動に移ることができ、これを繰り返すことで自信がついてきます。

困った時は「私のメンターになってください!」と、上司ではなく、先輩や尊敬できる方をお願いしてみてください。心が元気なことは何よりも大切なことです。そんなネットワークが鹿兒島に広がると、もっと女性の活躍が進むかもしれませんね。

物怖じせず、『挑戦』してみる気持ちを持ち、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。

「女性の働きやすい 職場環境づくりを目指して」

森建設(株) 「こまち会」
古里 智香 さん



作業着に身を包み、建設現場で働く古里さん

◆「こまち会」とは

将来の人材確保も視野に、森建設(株)や同社の関連会社で働く女性技術者・技能者で結成した女性交流会。やりがいの持てる職場づくりを目指して、会社への提言などを行っています。

◆今の職業を選んだきっかけ

中学生の頃から構造物に関心があり、自分が造ったものが周りの人のためになる仕事がしたくて建設業を選びました。ためらいはありませんでしたが、男性の多い職場の雰囲気などに不安があったので、大学時代の先輩に確認したりしました。

◆自分が入社したことで職場が変わったこと

職場の人からは、よく「職場が明るくなった」と言われます。職場の雰囲気が変わったことで、仕事に張り合いが出たと言ってくださる方もいて、私自身も楽しく仕事をさせてもらっています。

◆男性社員と違うことでの将来への不安

結婚して妊娠した時に現場に出ることは自分も周りも不安があると思うので、内勤や時間制での出勤体制を取れるように、現場の体制を改善してもらえると妊娠中も仕事をしやすくなると思います。

◆将来、建設業で働きたいと思っている女性へのメッセージ

男性社会で働くということに中途半端な気持ちで挑戦する人はいないと思いますが、臆せず飛び込んでみて、自分なりの環境を作りながらプロを目指してください。